



サステナブルファイナンスの長期目標設定について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、SDGs達成目標である2030年度をターゲットとするサステナブルファイナンスの長期目標を設定しましたので、下記のとおりお知らせします。当行では、サステナブルファイナンスの推進を通じて、地域やお客さまの環境課題や社会課題の解決に向けた取組みを支援・促進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. サステナブルファイナンスの長期目標

項目	内容
目標金額	サステナブルファイナンス投融資累計額 5,000億円 (うち環境系ファイナンス投融資累計額 2,000億円)
期間	10年間(2021年度～2030年度)
サステナブルファイナンスの定義	地域やお客さまの環境課題や社会課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資

2. 長期目標設定の目的

SDGsやESGへの関心が急速に高まるなか、当行は、2020年12月に「環境及び社会に配慮した投融資方針」を制定し、投融資を通じて地域やお客さまのサステナビリティ向上への取組みを支援してまいりました。当行では、こうした取組みを加速させ、持続可能な社会の実現に一層貢献するため、この度サステナブルファイナンスの長期目標を設定しました。

<環境及び社会に配慮した投融資方針>

株式会社百十四銀行は、環境及び社会の課題解決に向けた事業を支援するとともに、負の影響が大きい事業や事業者との取引については、その影響の低減・回避に努めます。

- 気候変動リスクを低減する又は社会課題の解決につながる次の事業等を積極的に支援します。
 - 再生可能エネルギー事業など脱炭素社会の実現に向けた事業
 - 水資源や森林資源の保護など生物多様性保全に向けた事業
 - 防災・減災、及び感染症予防・拡大防止に向けた事業
- 環境及び社会に対する負の影響が大きい次の事業又は事業者に対する投融資には取り組みません。
 - 石炭火力発電所の新規建設事業
 - ただし、国のエネルギー政策に沿っており、環境負荷を考慮した厳格な基準を満たす事業については、個別案件毎の特性等を勘案のうえ慎重に対応します。
 - 違法な伐採を行っている森林伐採事業、及び人身売買・強制労働・児童労働等の人権侵害に関与している事業者
 - なお、パーム油農園開発事業者については、国際認証等の取得状況や先住民・現地社会とのトラブル等を十分に考慮するなど、慎重に対応します。
 - 核兵器、クラスター弾、生物化学兵器など非人道的兵器の開発・製造を行う事業者

以上